木質バイオマス資源の持続的活用による再生可能エネルギー導入計画策定事業
概要説明（鹿児島県薩摩川内市）

１．事業概要

事業名	竹等の地域未利用バイオマスのエネルギー利用事業可能性調査
検討対象設備等	①薩摩川内市祁答院支所（庁舎系施設）：バイオマスボイラー　120kW（冷房能力） ②少年自然の家（宿泊施設）：バイオマスボイラー　700kW ③鷹の巣冷泉（温浴施設）：バイオマスボイラー　400kW ※①～③について既存の導入設備と同程度を想定し、今後検討する。
平成３０年度 補助金交付予定額	15,000,000円
事業内容	本市内の放置竹林及び整備竹林から発生する未利用の竹（枝・葉含む）を主として、その他本市で発生する多様な未利用バイオマスの有効な活用も見据えて、それらの利用可能量の定量的な把握、安定供給体制の構築等について、経済循環や資源循環等を踏まえた持続可能性を考慮しながら、その事業可能性について相対的な評価を実施する。

２．設備導入予定等

設備導入時期	来年度（平成31年度）以降、関係者調整や課題整理等の事前準備や導入設備の詳細な仕様検討、設備設計等に順次着手し、平成33年度中の設備導入、そして、設備稼働を目指す。
CO2削減効果	①薩摩川内市祁答院支所（庁舎系施設）：17,671.50（kg-CO2/年） ②少年自然の家（宿泊施設）：14.63（kg-CO2/年） ③鷹の巣冷泉（温浴施設）：78.93（kg-CO2/年）
生物多様性保全効果	本事業により、竹バイオマスを主とする地域の未利用バイオマスのエネルギーや燃料としての有効かつ持続的な活用が図られることで、放置竹林の減少、ひいては、里山の環境保全や鳥獣被害対策等の生物多様性保全効果に繋がるものである。